

「健康生きがいづくりアドバイザー80歳からの
生き方アンケート調査結果報告」と
第26回AD全国大会シンポジウムの概要

2018年9月28日

一般財団法人 健康・生きがい開発財団

注)第26回AD全国大会のシンポジウムは以下の資料に基づいて実施しますが、
当日、報告内容が変更されることもございます。

「健康生きがいづくりアドバイザー 80歳からの生き方アンケート調査・シンポジウム」

ーレジメー

- | | |
|-----------------|--------|
| 1. アンケート調査の実施目的 | 5分 |
| 2. アンケート調査結果報告 | 15分 |
| 3. パネルディスカッション | |
| ①パネラー紹介 | 5分 |
| ②パネラー発表(4名) | 40分 |
| ③討論 | 15分 |
| 4. まとめ | 5分 |
| | (計85分) |

1. アンケート調査の実施目的

(1) 問題認識

① これまでの課題

- ・現在AD全国約4000人の内10.6%が80歳以上
- ・ADの平均年齢が約72歳と思うが、78歳ごろから退会者が増える
- ・OB会の設置や80歳以上の会費値下げの話題あり

② 今後の課題

- ・人生100年時代になり、80歳代ADは増加するのか
- ・80歳代AD活動にはどのような配慮が必要か
- ・2025年には定年70歳になりAD活動も70～90歳が予想されるが、80歳代の占める割合は？
- ・新5か年計画AD活性化にはこの問題の解明が重要

アンケートの実施概要

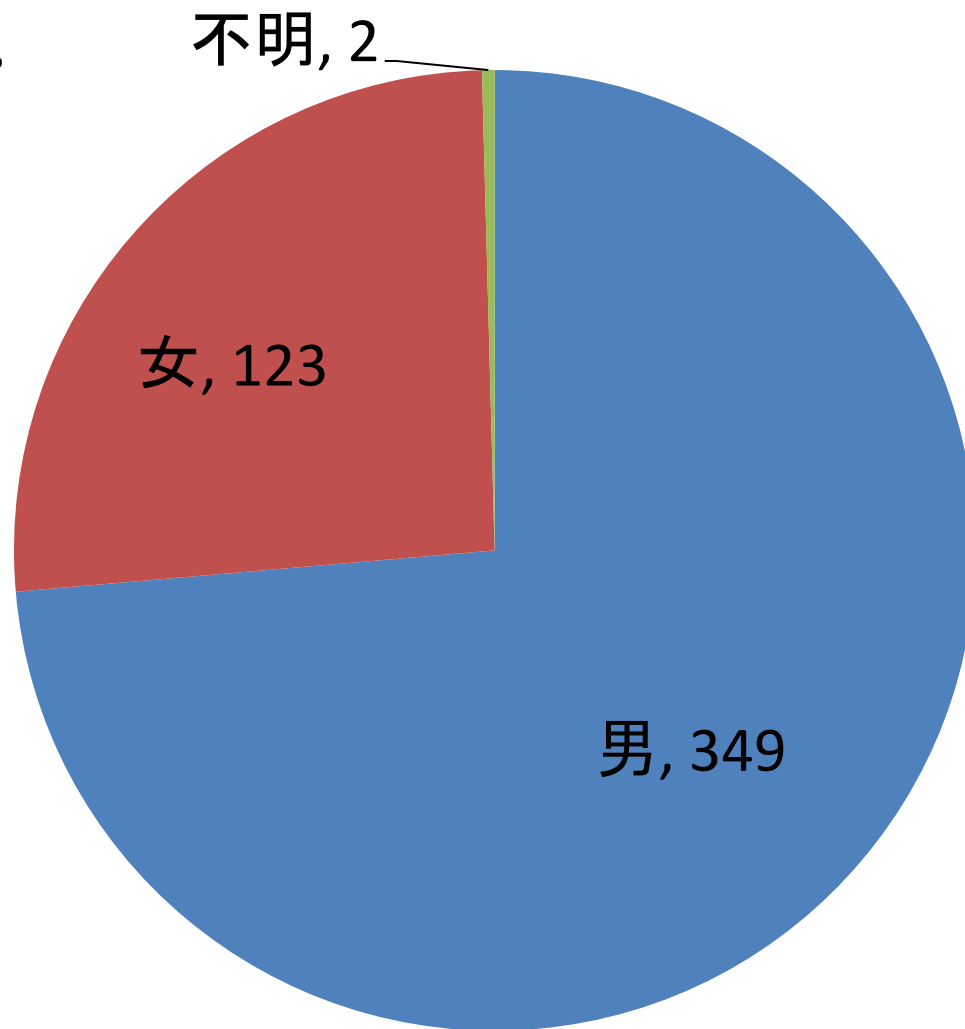
1. 調査期間:2018年5月中旬～6月末
2. 発送数:3,946件(年齢、性別内訳は、次頁)
3. 回収数:482件(8月10日現在)
4. 集計対象:474件(有効票)
5. 質問事項
 - ①基本属性(性別、年齢、健康度、家庭経済、家族、暮らし方、「生きがいは?」、「不安は?」、「生活障害は?」、ADとしての活動状態)
 - ②ADとしての具体的な活動内容
 - ③80歳以上をどう生きるか?
 - ④財団についてお気づきの点・要望等

アンケート調査発送先内訳

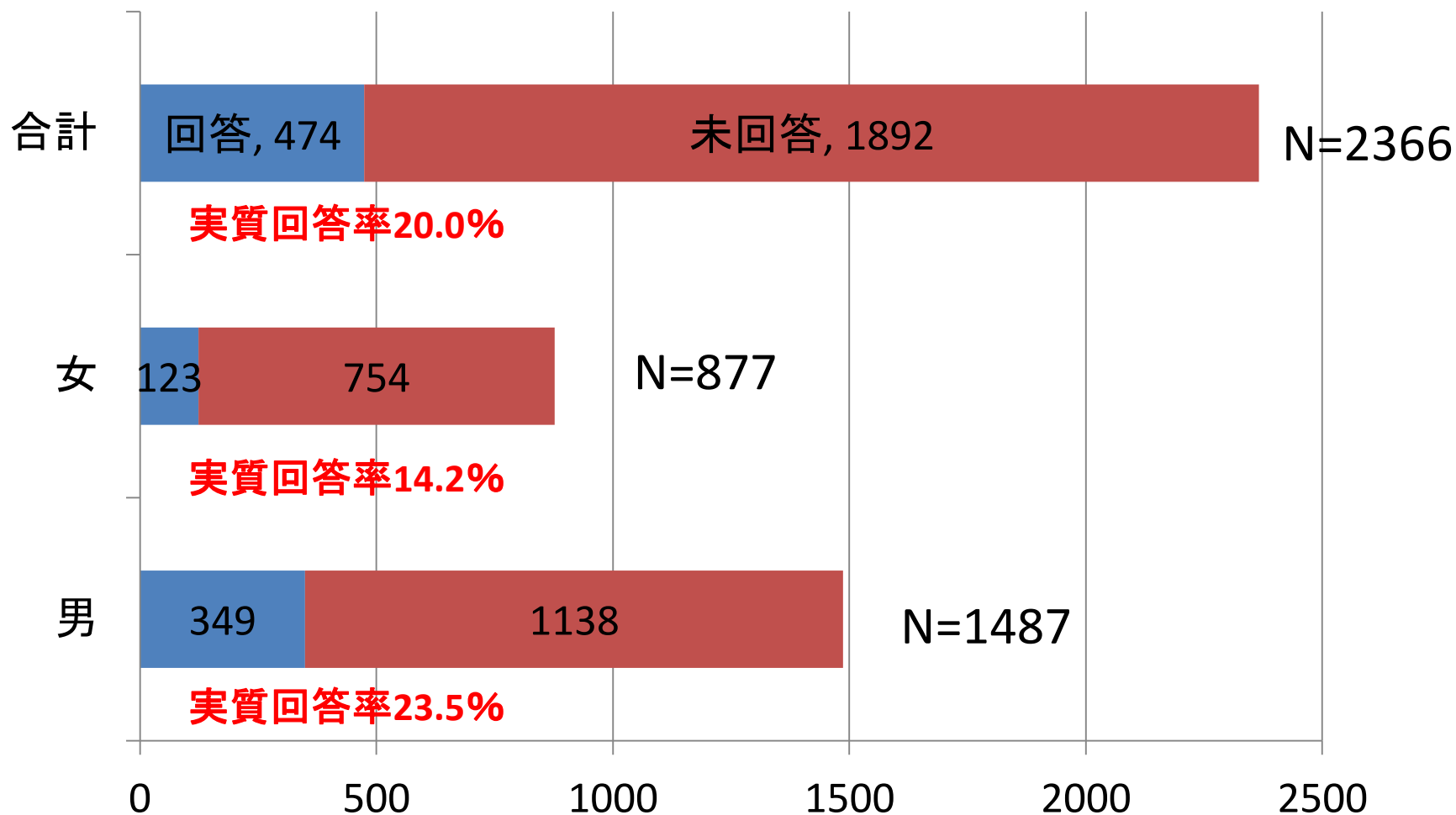
年齢・性別	男		女		合計	
	人数	割合	人数	割合		
90歳～	33	84.6%	6	15.4%	39	
85歳～	136	76.0%	43	24.0%	179	
80歳～	340	71.7%	134	28.3%	474	
75歳～	549	66.2%	280	33.8%	829	
70歳～	429	50.9%	414	49.1%	843	
70歳以上	1,487	62.9%	877	37.1%	2,364	59.9%
70歳未満	597	38.2%	965	61.8%	1,562	
不明	10	50.0%	10	50.0%	20	
全体	2,094	53.1%	1,852	46.9%	3,946	

性別

N=474

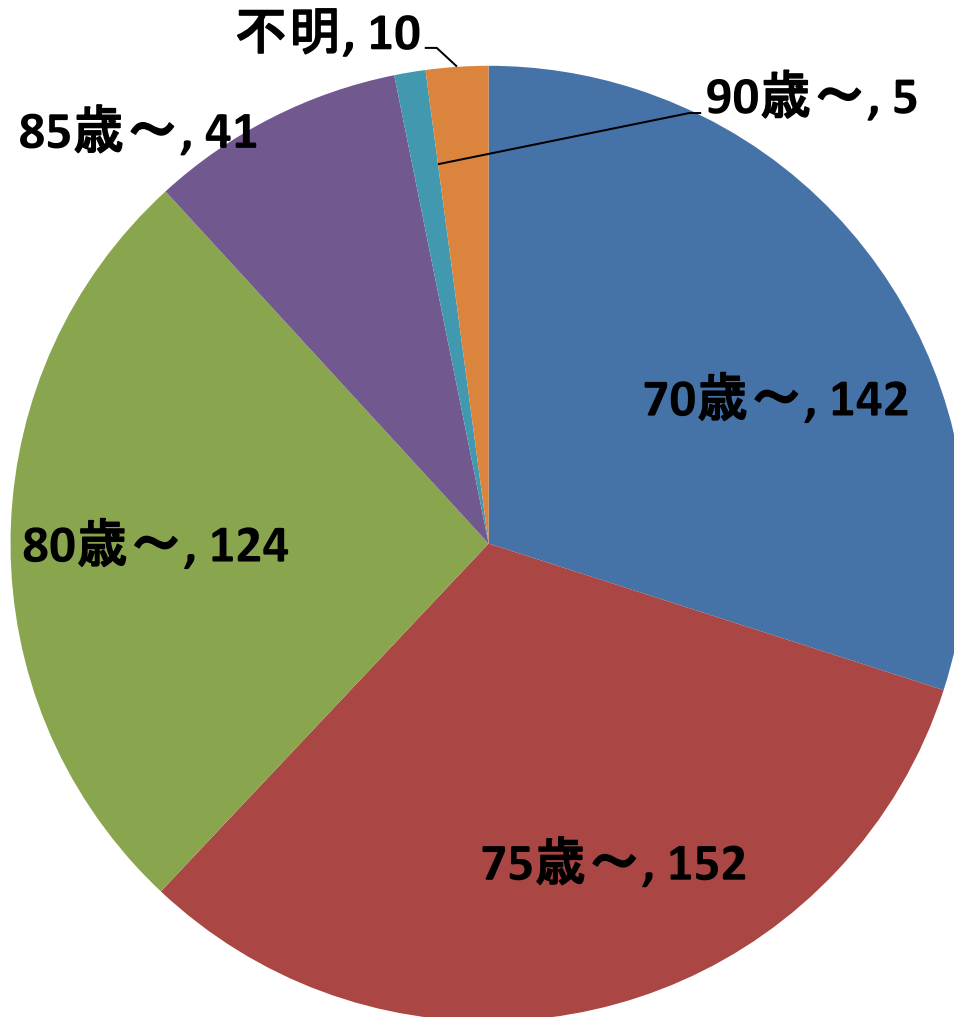


男女別アンケート回答率



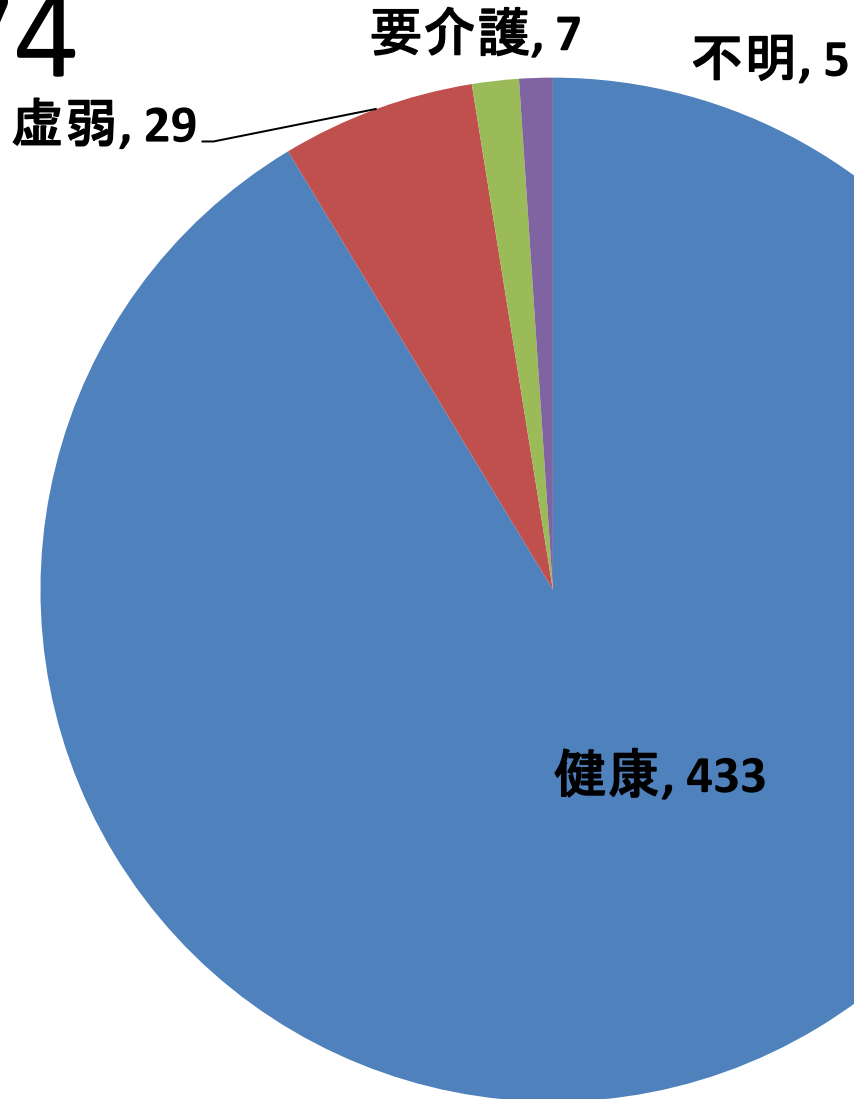
年齡

N=474



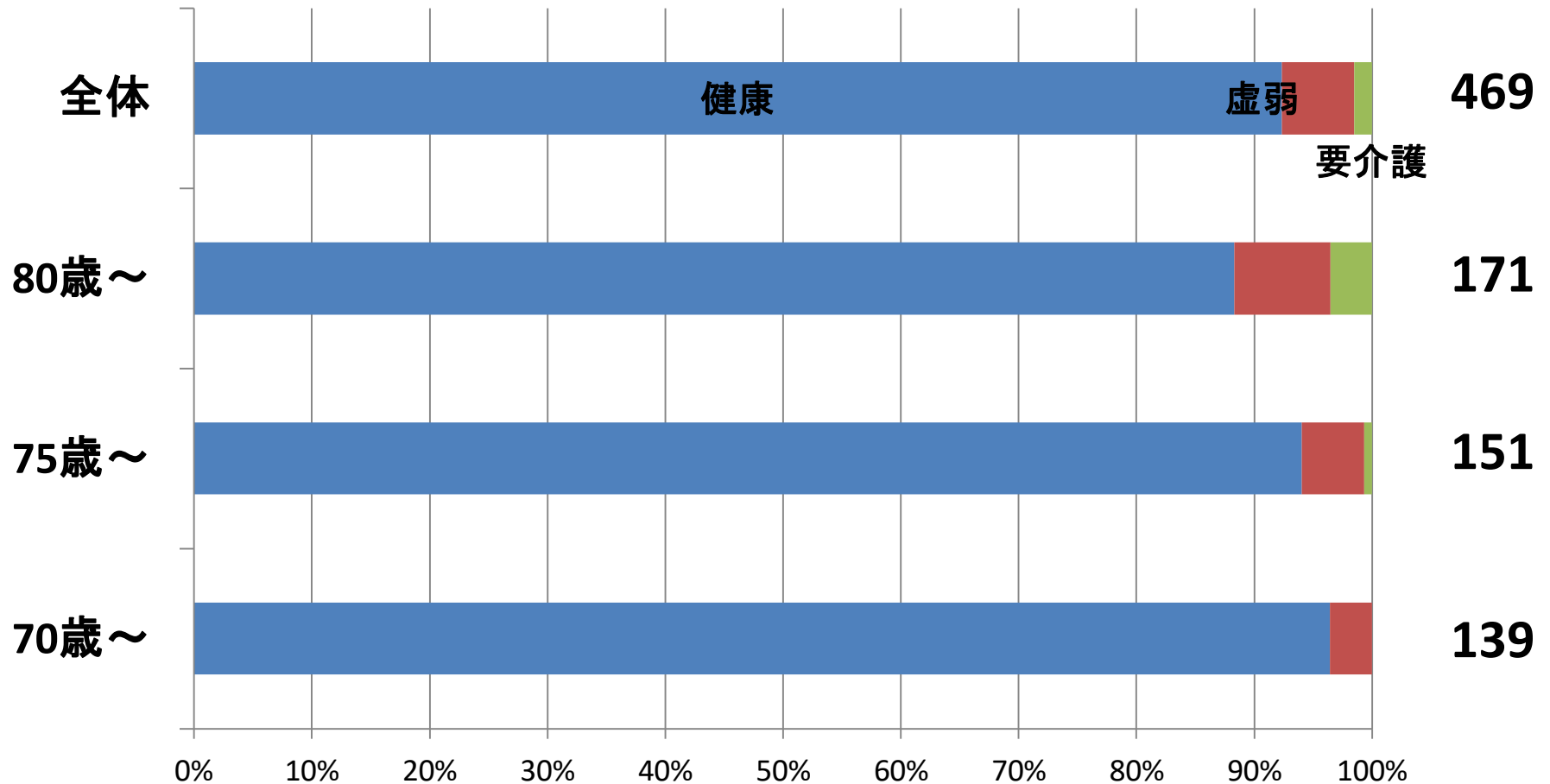
健康度

N=474



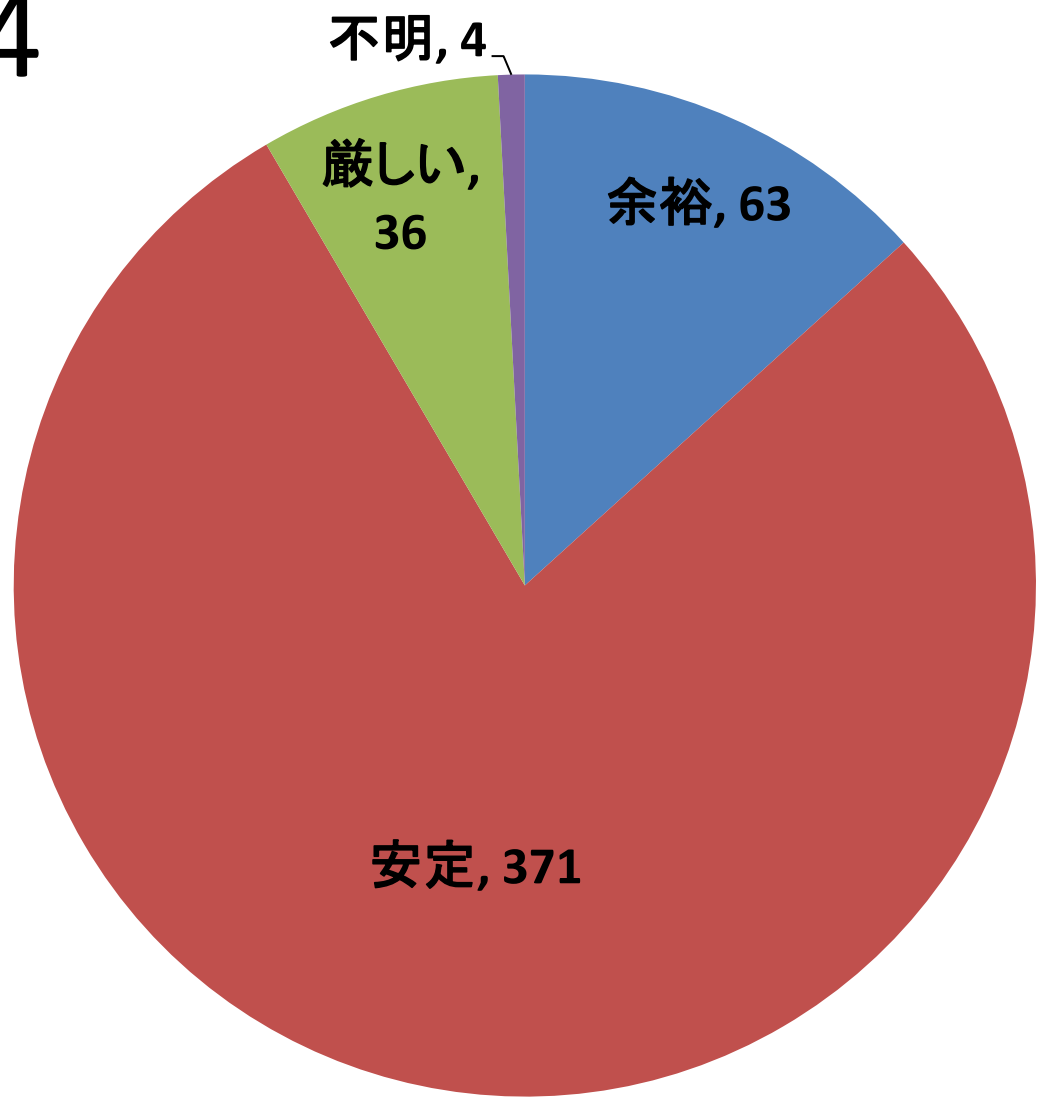
健康度(年齢区分別)

N=469



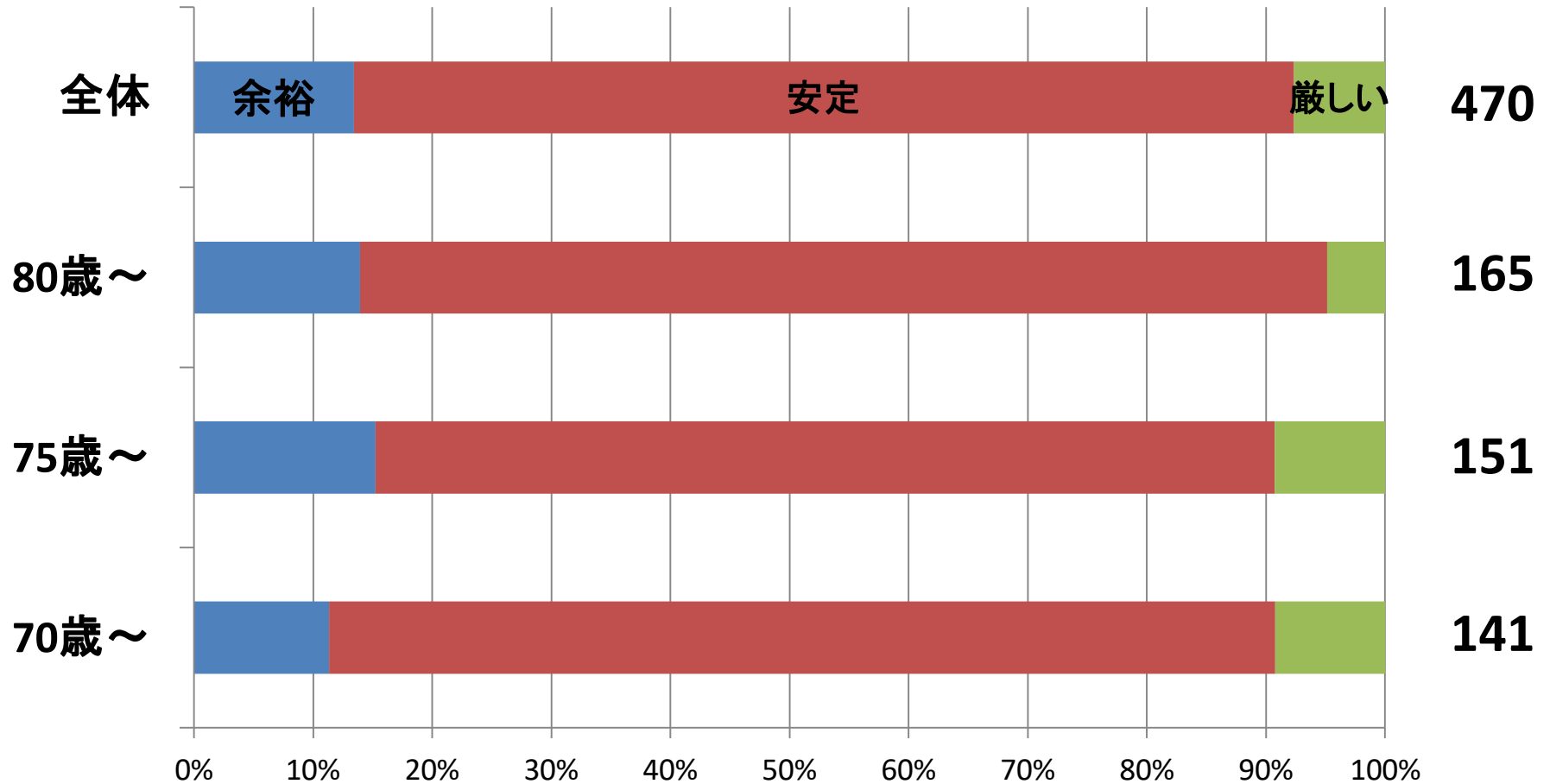
家庭経済

N=474



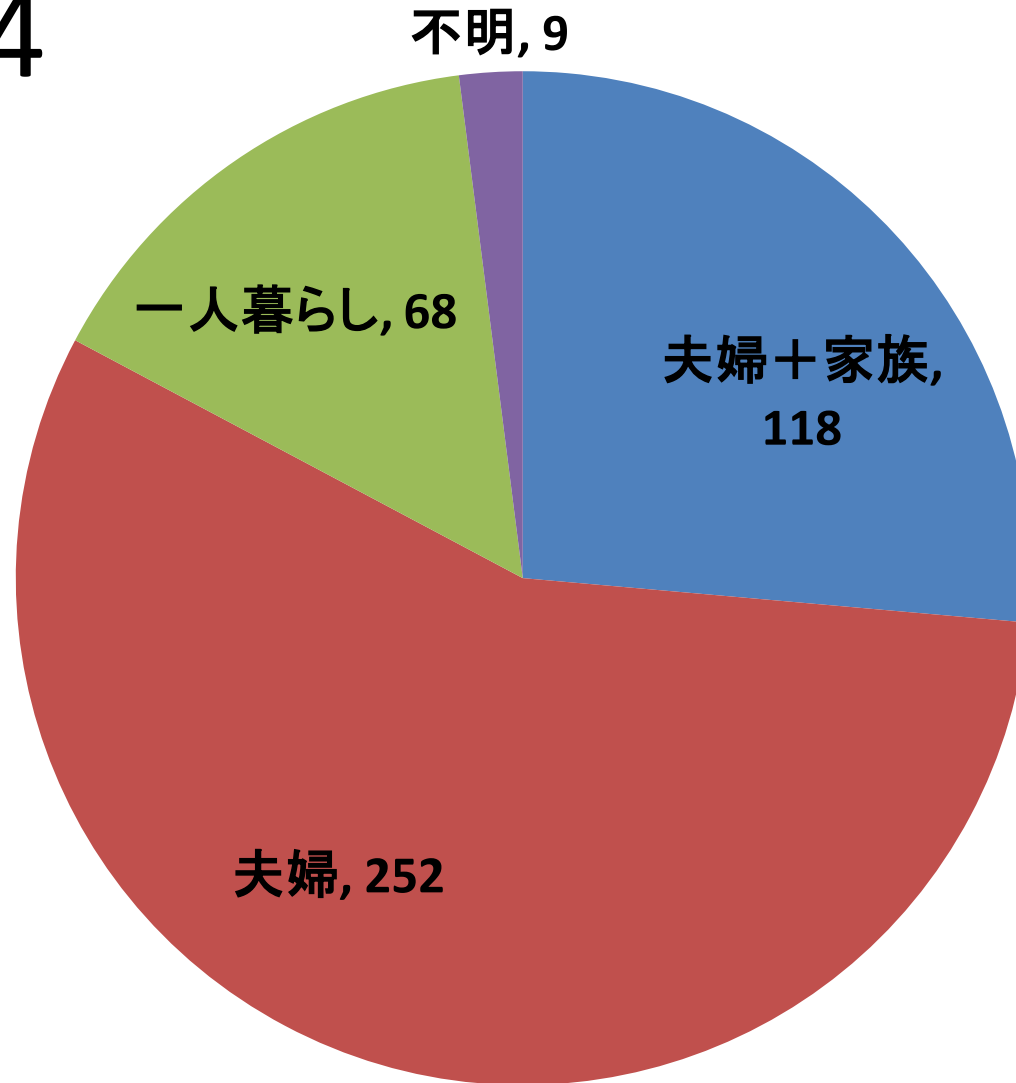
家庭経済（年齢区分別）

N=470



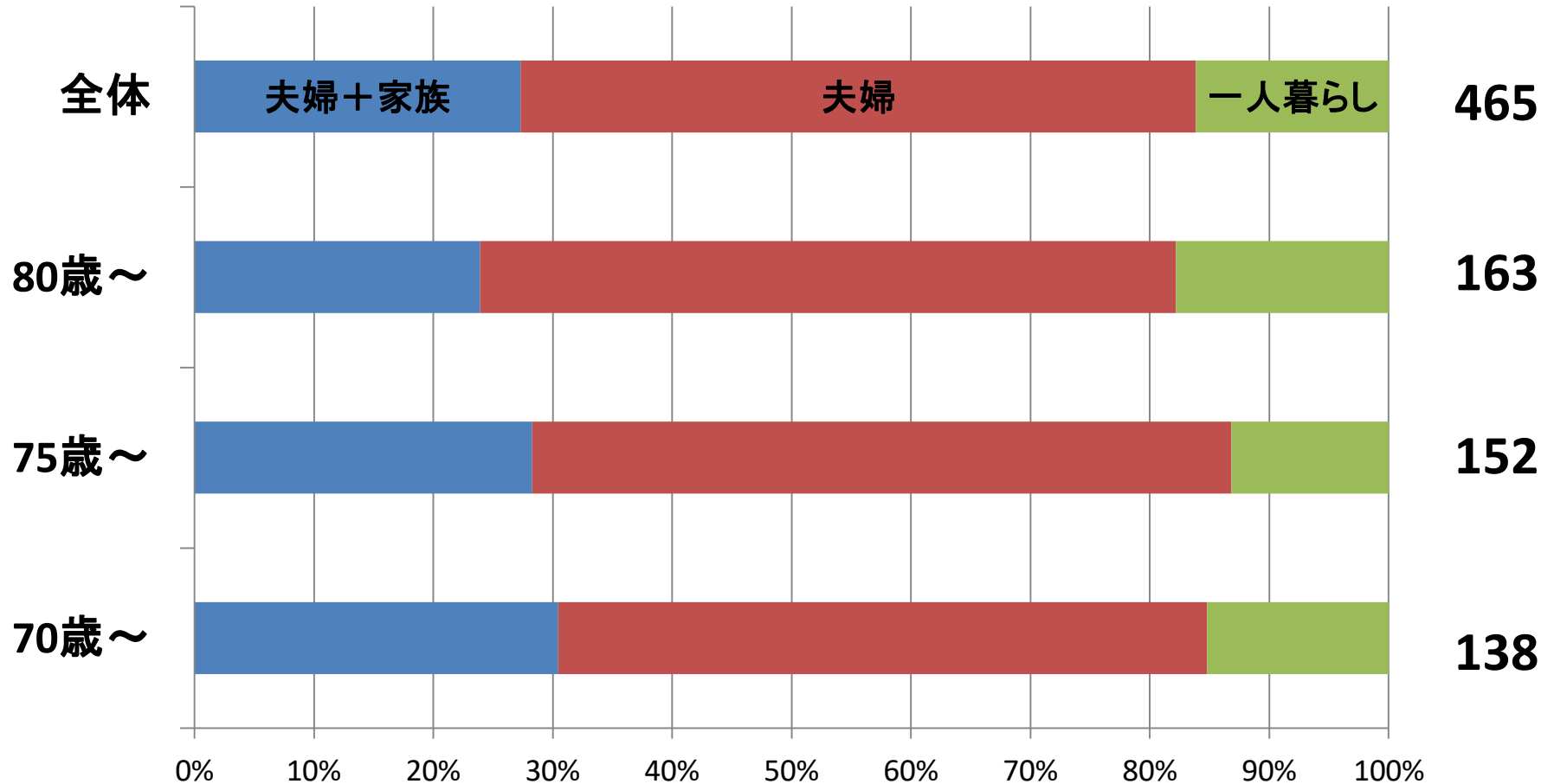
家族

N=474



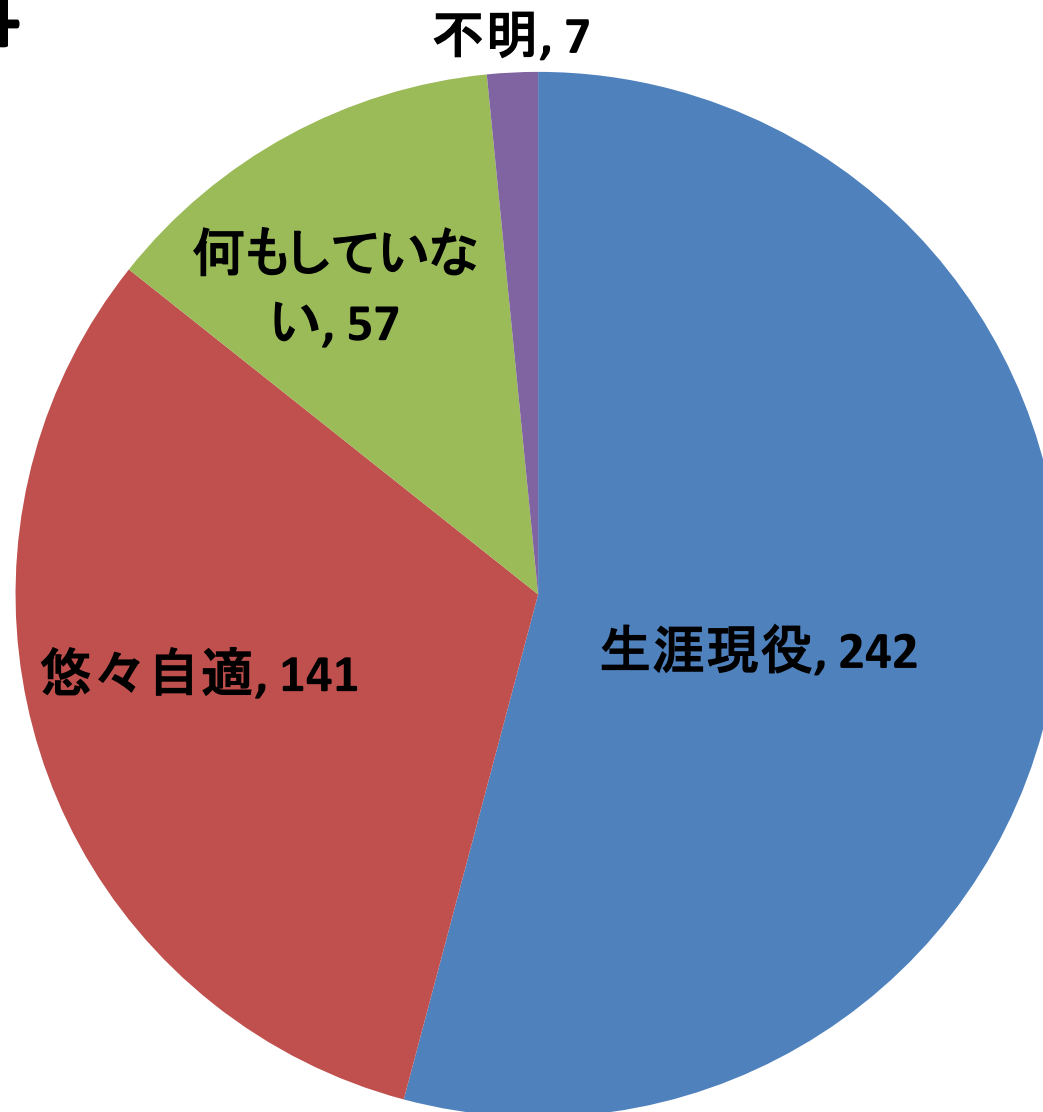
家族(年齢区分別)

N=465



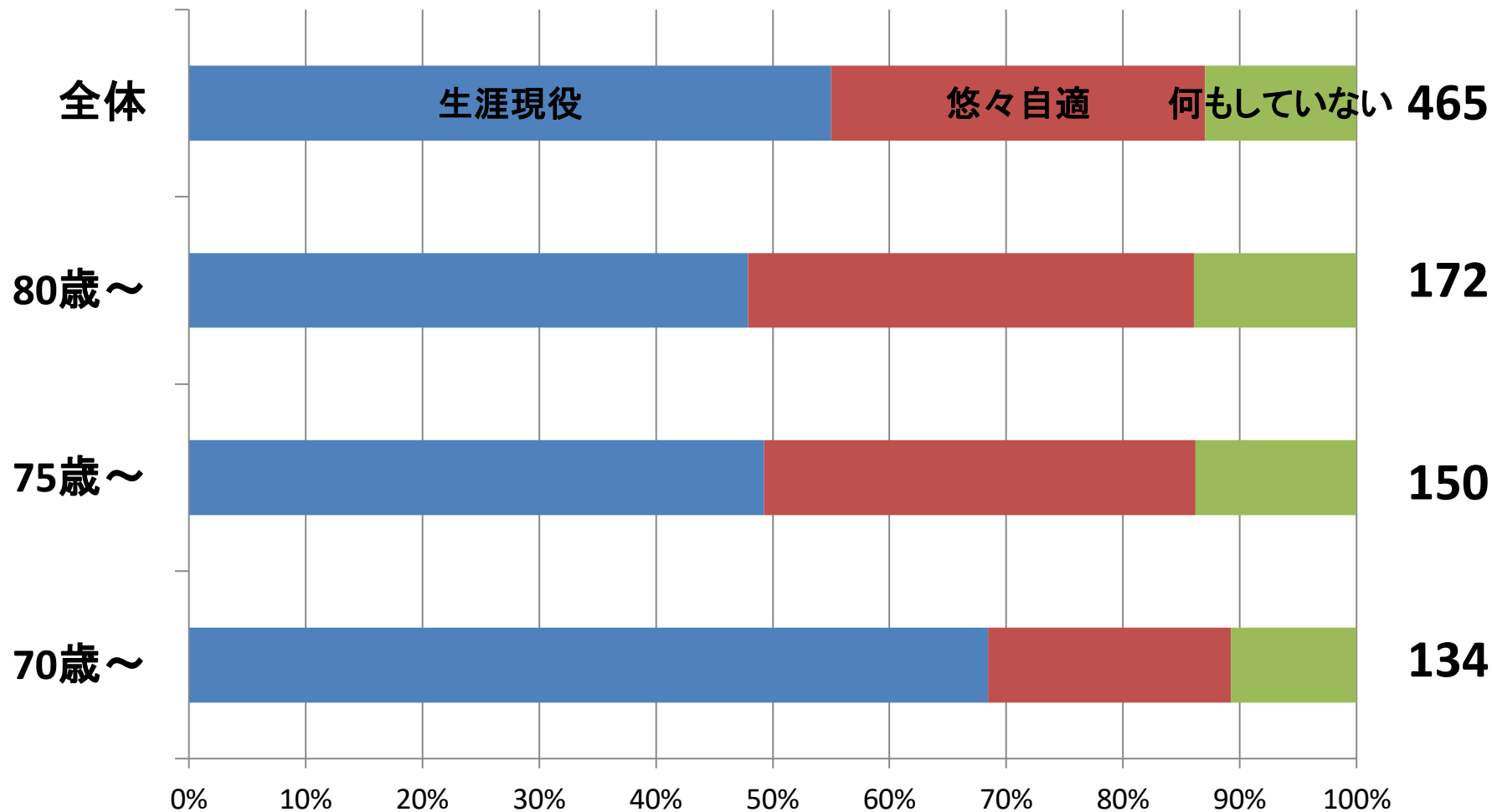
暮らし方

N=474



暮らし方(年齢区分別)

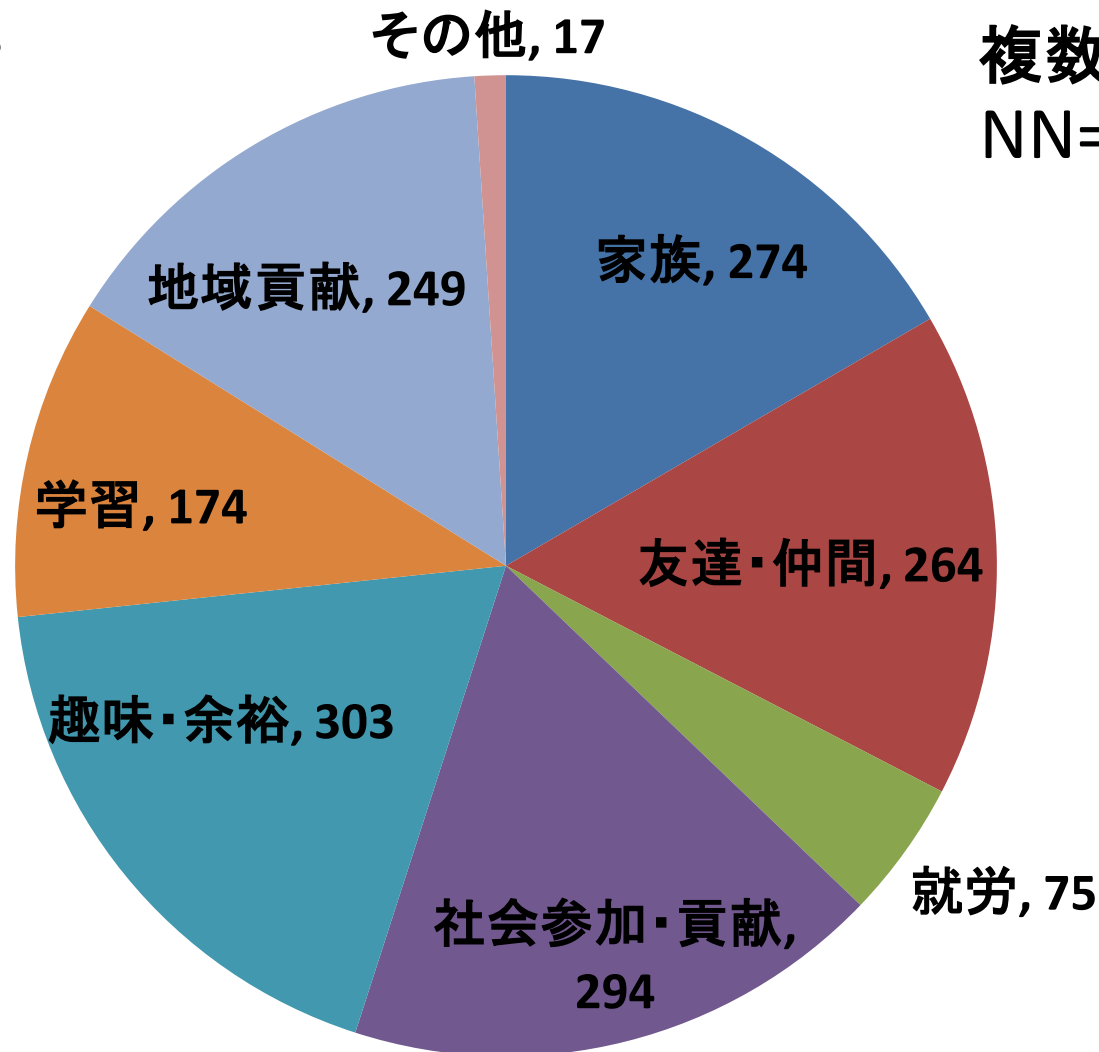
N=465



あなたにとっての「生きがい」とは

N=474

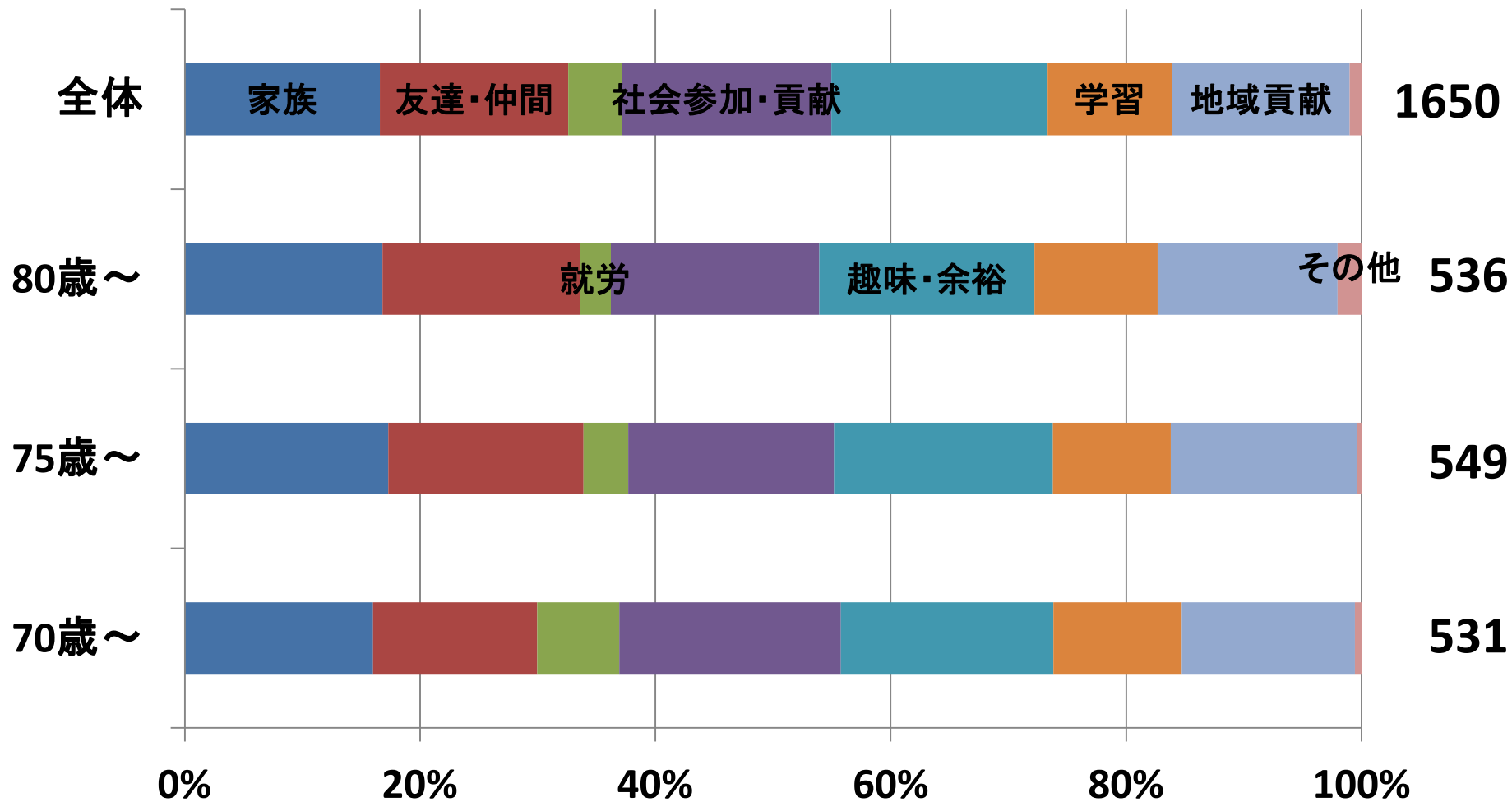
複数回答可
NN=1650



あなたにとっての「生きがい」とは (年齢区分別)

N=474

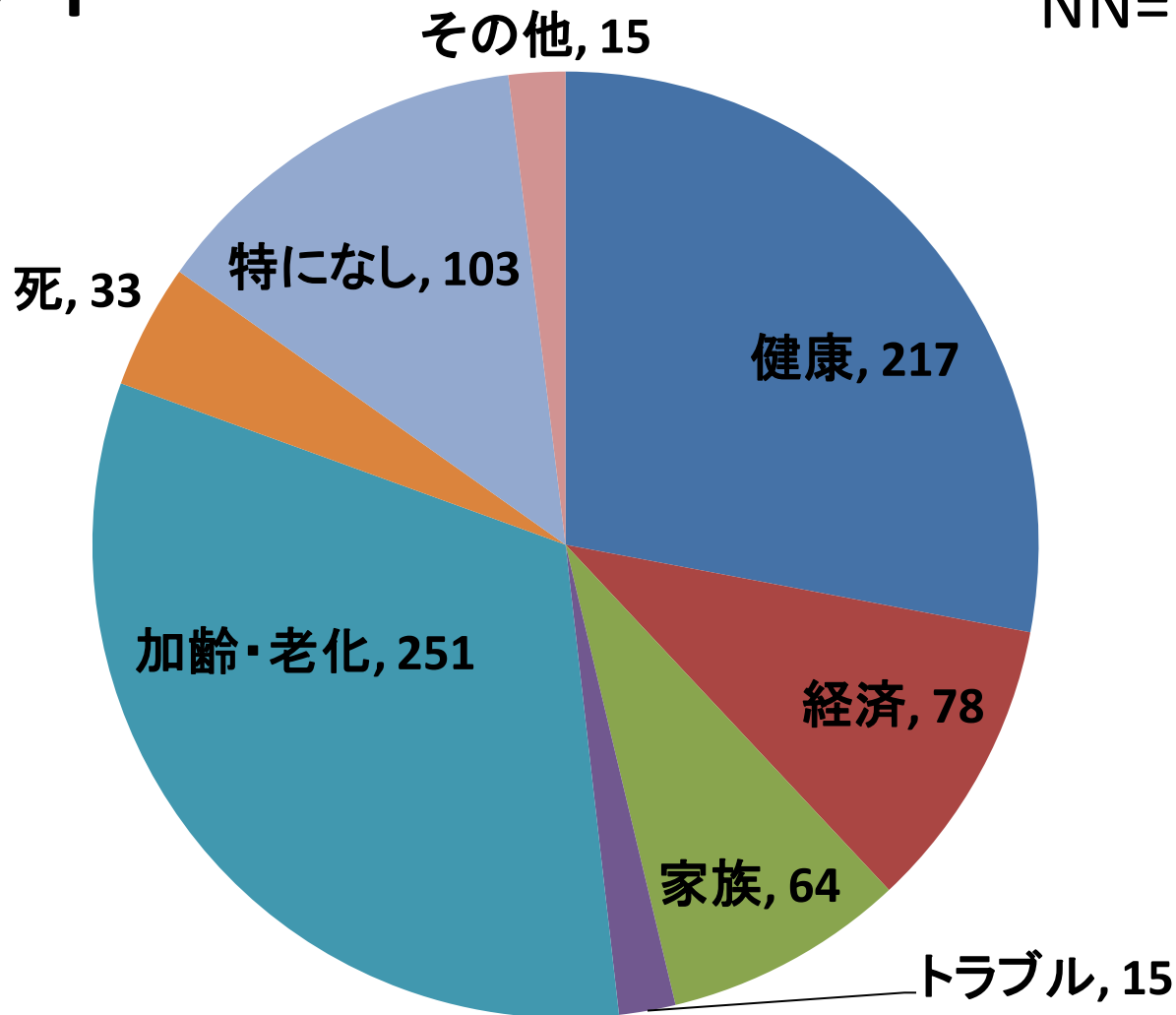
複数回答可
NN=1650



あなたにとっての「不安とは」？

N=474

複数回答可
NN=776

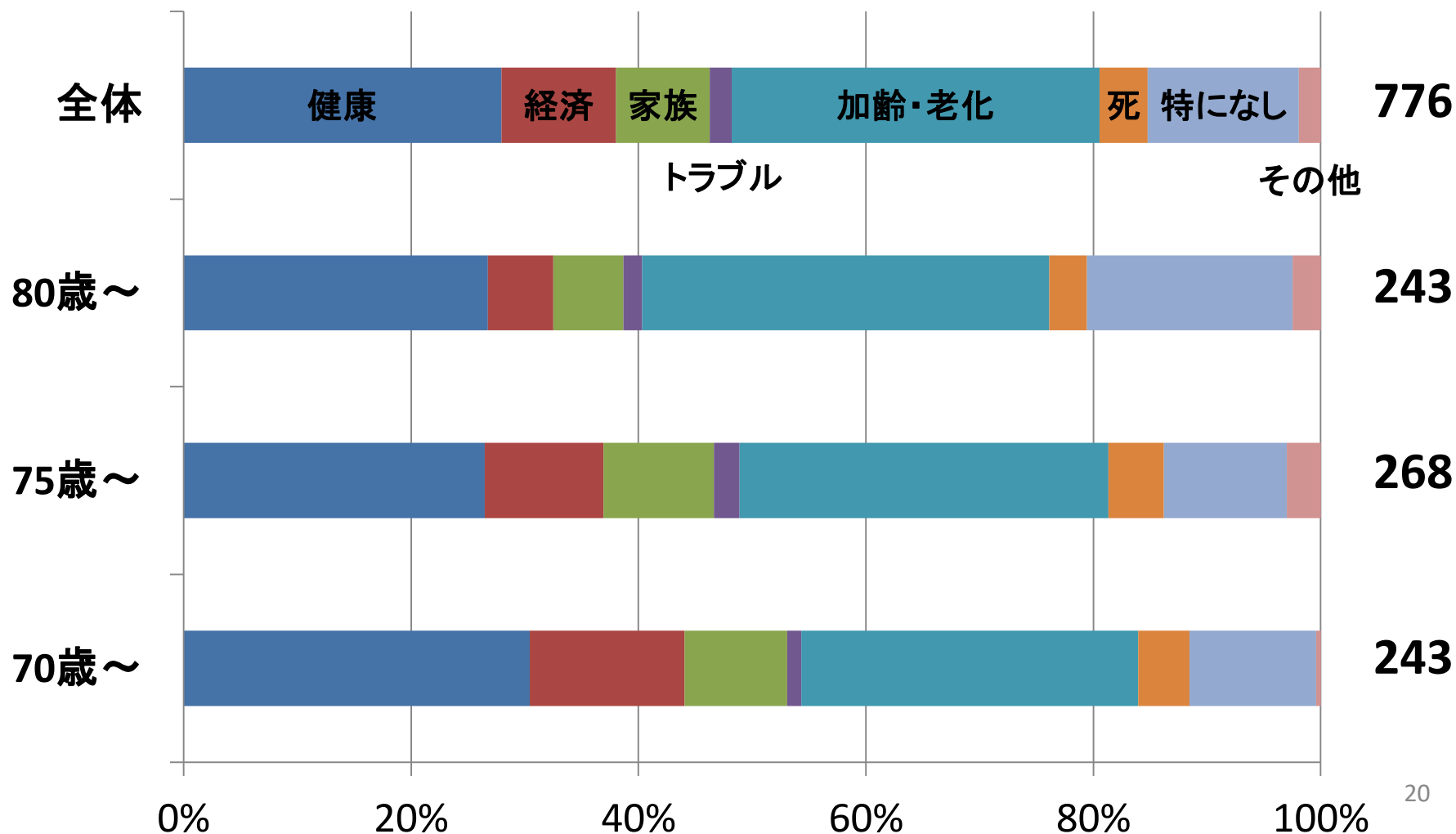


あなたにとっての「不安とは」？

(年齢区分別)

N=474

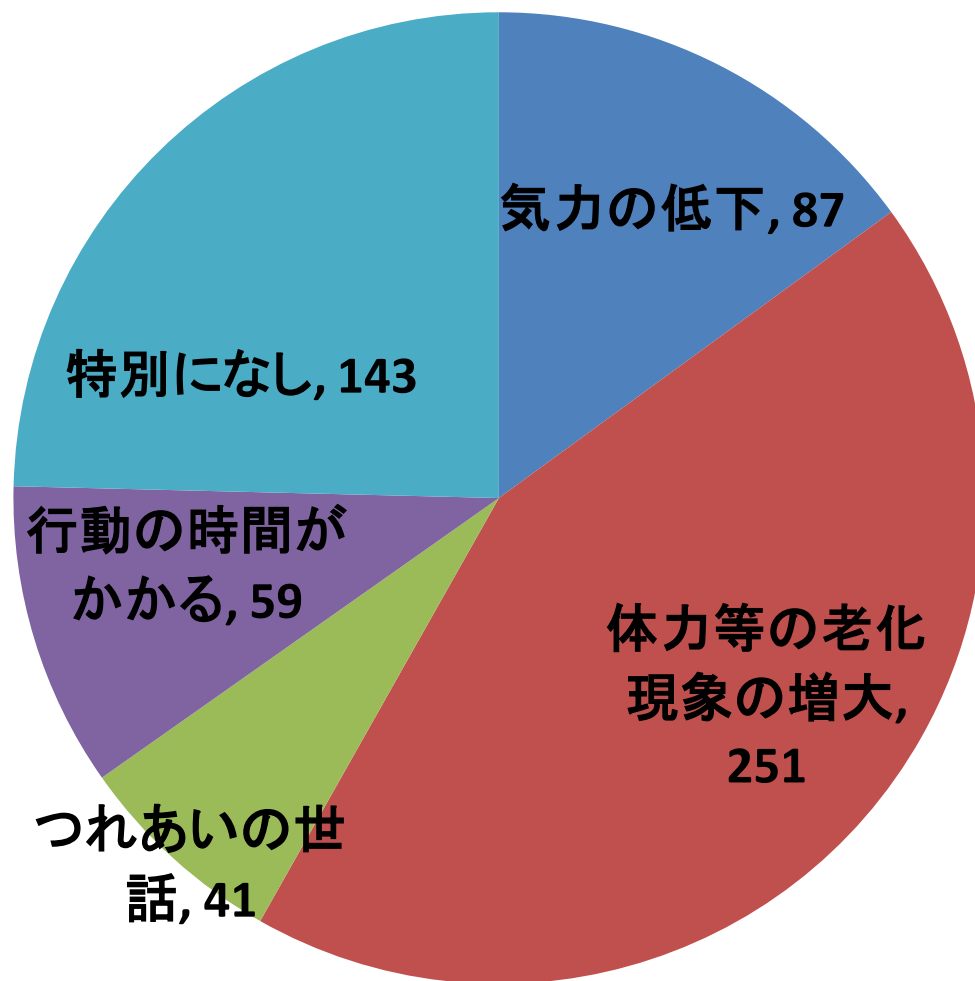
複数回答可
NN=776



あなたにとっての「生活障害とは」

N=474

複数回答可
NN=581



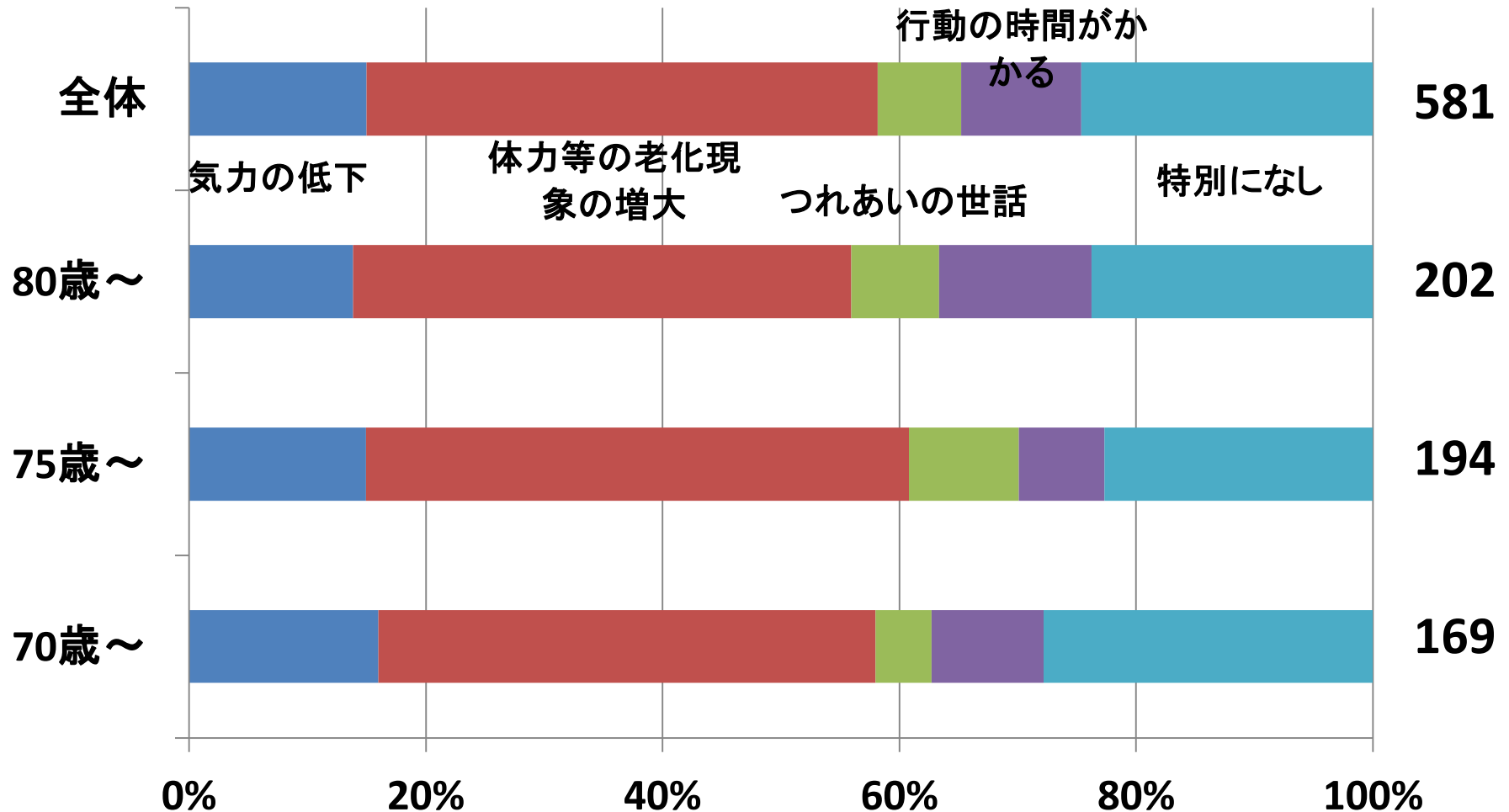
あなたにとっての「生活障害とは」

(年齢区分別)

複数回答可

N=474

NN=581

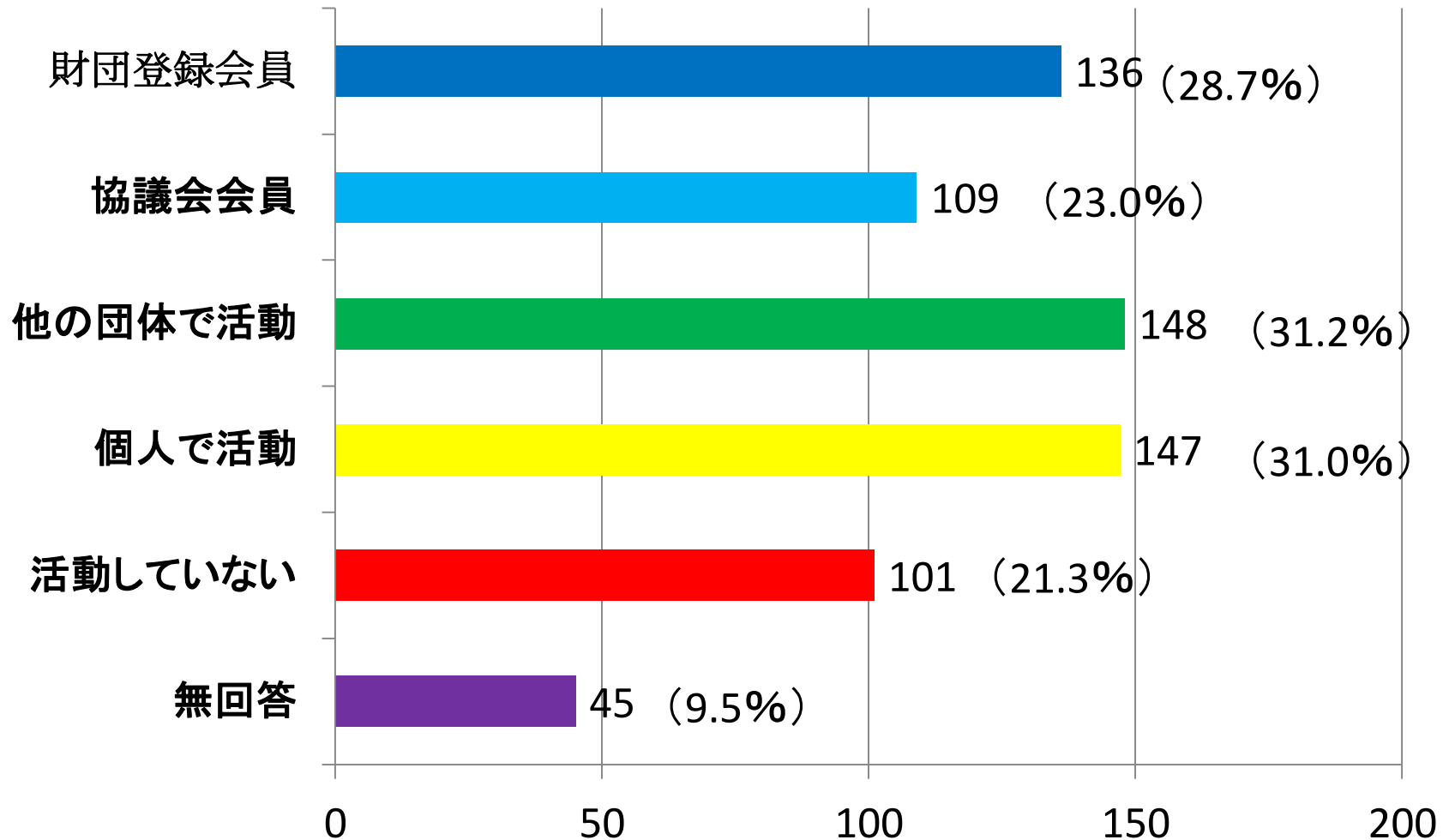


ADの活動状態について

N=474

複数回答可

NN=646



N=474

ADの活動状態について

(回答者の様々な活動パターン)

複数回答可
NN=646

財団登録	協議会会員	他団体で活動	個人で活動	なし			
					7		
					15		
					5		
					19		
					9		
					19		
					7		
					55	136	136
					6		
					15		
					5		
					37	63	109
					16		
					61	77	148
					52	52	107
					101		101
				無回答	45		45
					474		646

ADとしての活動状態

(80代になると財団、協議会活動が減る)

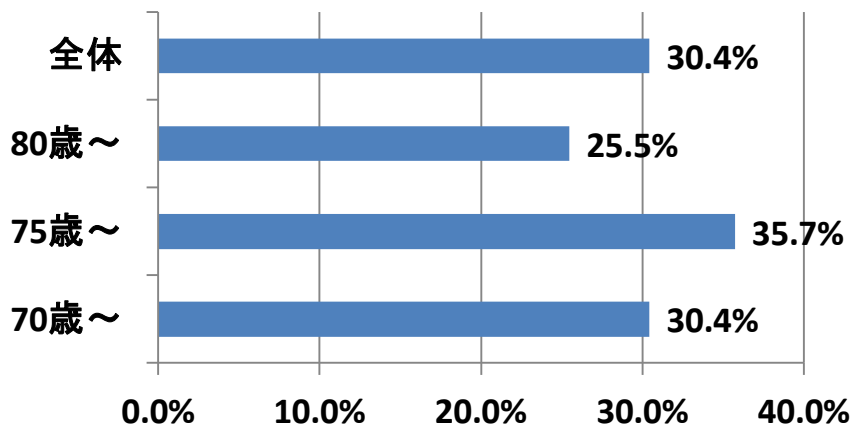
全体 N=474

80歳～ N=170

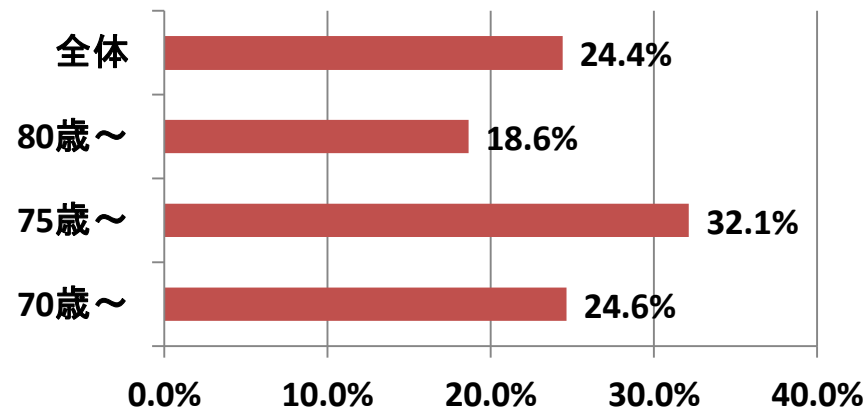
75歳～ N=152

70歳～ N=142

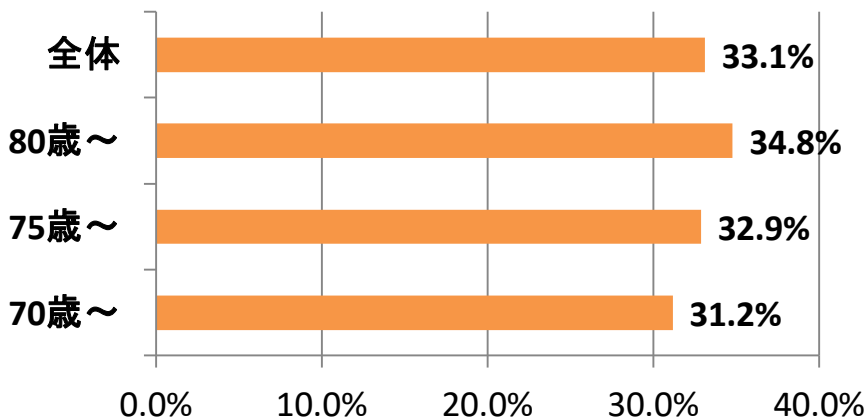
財団登録会員



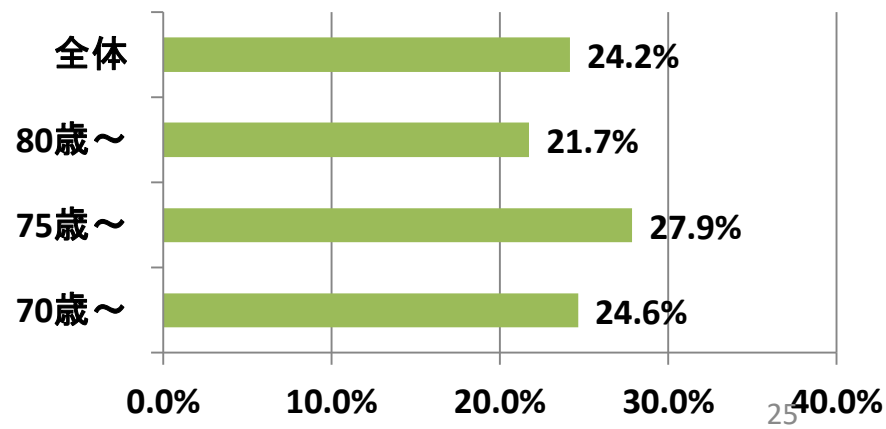
協議会会員



他の団体で活動



個人で活動



財団への要望・主な意見への財団の対応

- **ADの知名度向上を**
→(対応)これまで「人生は二幕目が面白い」書籍、DVD、パンフレット)を発行し、PRに努めてきた。今後とも新たな手段を講じていきたい。
 - **AD養成講座テキスト改訂を**
→(対応)テキスト改訂検討委員会を立ち上げ、既に改訂に着手、2019年10月には新テキストを発行予定
 - **AD養成講座の受講料の減額化ができないか**
→(対応)テキスト改訂、新カリキュラムスタートに合わせて受講料見直しを検討中
 - **財団からの情報提供の充実を**
→(対応)健生ほっとらいんメーリングリスト(ML)の登録者を拡充し、タイムリーな情報提供に心がけている。
 - **ADであるメリットの充実を**
→(対応)ADが関わり多少なりとも収入源となりうる「生きがい就労」に関する情報提供を充実していく。
- ※その他にも多くの要望意見が寄せられましたが、適宜検討の参考にして参りたいと思います。

アンケート調査結果報告
第26回AD全国大会
シンポジウムの進め方

2. アンケート調査結果報告

(1) 結果内容

- ①健康度は80歳代虚弱・介護少し増えるが元気大半
- ②家族は80歳代一人暮らし少し増えるが夫婦のみが57%と多い
- ③暮らし方は80歳代生涯現役が多いが、悠々自適が少し増える
- ④生きがいは社会貢献、地域貢献割合が80歳代は70歳代と変わらず
- ⑤不安面では80歳代加齢、老化不安が少し増える
- ⑥80歳ADは財団・協議会会員減少、地域団体増加

(2) アンケート・コメント欄内容(70・80歳)

- ① 体力、気力の衰え、ソフトランニング
- ② 活動整理、役職整理
- ③ 第3の人生プラン
- ④ 終活、エンディングノート
- ⑤ 趣味に時間をかける
- ⑥ 夫婦旅行、夫婦共通趣味
- ⑦ 町内会活動、地域団体活動

* 80歳の実態は元気のようにですが、実際はこのコメントの方向も実態でしょう

(3) 80歳代ADのこれまでの声

- ① 80歳の事は80歳になってみないと分からない。80歳になると人に言えないようなことが起きる
- ② AD活動も80歳に近づくと若いADとの世代ギャップを感じる
- ③ 75歳以上高齢者はITが苦手な人が増える
- ④ ウォーキング活動に参加しても、スピードや距離が60歳代リーダーにはついていけない
- ⑤ AD活動も地理的距離があるとしんどい。自分の住んでいる地域の活動に移したい。

パネラーの紹介

1. 浅井博 82歳 長野健生 元会長
三才駅活動 体力づくり友の会 東雲句会
2. 上野正志 82歳 北海道健生 元会長
シニア大学等講師 男性料理クラブ
3. 土屋喜恵子 82歳 長野健生
俳句の会 高齢社会を良くする女性の会
4. 野間健三 87歳 兵庫健生 元副会長
コント劇「ぼけたらアカン」 地域健康づくり指導

パネラー発表内容

1. 60～70代と80代の過ごし方
健生活動、生きがい活動、地域活動等
また年代による過ごし方・活動変化について
2. 80～90代の過ごし方予想
80代からのライフプランについて
3. 財団、協議会、AD活動へのアドバイス
80代からのアドバイスをいただく
以上 各人10分で話してください